

令和6年度第2回三重県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時：令和7年3月11日(火) 10:00～11:30

場所：三重労働局 地下会議室

【議事】

(1) 令和6年度公的職業訓練実施状況について

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部、三重県、労働局から資料に沿って令和6年度の公共職業訓練及び求職者支援訓練の受講者数等の実施状況について説明。

デジタル系訓練や求職者支援訓練の基礎コースの実施状況が昨年度比較で受講者数等が増えていること、性別・年齢別での受講状況等について説明を行った。

<主なご意見・質問>

- 県においても、特定の分野で女性の受講率が低いことを認識しており、周知方法等を検討していきたい。
- ある女子大学では工学部を新設し、入学希望者が多かったという話を聞いた。男性受講者が多いことが訓練受講を躊躇する要因だとするならば、女性の受講率が低い分野の職業訓練に女性専用のものがあったてもいいのではと感じる。
- 受講率を改善したい訓練分野については、これまで訓練を修了・就職された方の中からロールモデルとなりうる方についての訓練受講から就職に至るまでの状況を記載した案内リーフレット等での周知ができると良い伝わり方になるのではないか。
- 受講率や就職率を上げること自体は重要なことだが、それらの数字を上げることだけに偏重しないでほしい。満足度や習熟度といった要素も併せて意識し、適切に職業訓練を実施してほしいと思う。

(2) 令和7年度三重県職業訓練実施計画について

令和6年度三重県職業訓練実施計画における課題の現状及び令和7年度の新たな課題を整理し、それらの対応策について労働局から説明。令和7年度計画のねらい等についても労働局から説明し、訓練種別の対象者数等については、

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部、三重県、労働局それぞれから説明を行った。

<主なご意見・質問>

- 特定の分野において、計画数がゼロになっているのはなぜか。

(回答)

ニーズ調査の結果から、当該分野ではほとんど関心がなかったこと、当該分野の職業訓練を実施できる訓練実施機関がないことから計画はゼロとした。

- 外国人向け訓練コースの受講率が低迷している中で、来年度も計画にあがっているが、外国人が増加している中で、訓練を必要とする方に情報が届くよう周知の工夫をしてほしい。様々な手法を用いて周知を行っていると思うが、応募者がどういうきっかけで応募に至ったのかということも分析してほしい。
- 今後の対策として、ハローワーク職員の訓練内容知識の向上とあるが、どういったことをするのか。

(回答)

訓練校に訪問し、担当講師から訓練実施にあたり工夫している点や訓練内容の細かいこと等を聞き、理解を深めている。今年度実施したが、実際の訓練実施状況を見学することができ、その後の訓練希望者に対する訓練相談に活用できている。今後も未実施の訓練分野を中心に実施していきたい。

(3) 令和7年度公的職業訓練効果検証ワーキンググループについて

労働局から令和7年度の公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング対象分野について提案。

<検証対象分野>

- ・デジタル系（IT分野・WEBデザイン分野）

<理由>

- ・都市圏と比較し、人材育成に遅れをとっていること
- ・IT分野の受講率が低くなっていること
- ・IT分野、WEBデザイン分野ともに就職率が低くなっており、その要因を把握・分析する必要があること

<検証事項>

- ・受講率を高めるための要素
- ・求人者が求める条件・スキル 等

<主なご意見・質問>

- 受講者増加を目指すにあたり、デジタル系訓練で習得したスキル等は当該分野以外でも活用できるものと思われるので、そういった特徴を出した周知も検討すべきではないか。
- 令和7年度三重県職業訓練実施計画案については提案のとおり承認された。
- 令和7年度公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング対象分野は事務局提案のデジタル系（IT分野・WEBデザイン分野）で承認された。